

自分たちの生活を送っていた場所から離れて、考え、声を発し、聞き、なにかを待ち、つくりあげていく過程が描かれているようですが、その声と音が単純な物語進行から逸脱し、別の人物を参加させ、自らも参加し、ひとつのイメージ、ひとつの答え、ひとつの感情、ひとつの読みに縛られないひとつの場所をつくっていく過程と言うほうが正しいかもしれません。一言で言うなら共同体の話です。——作者



15周年を機に「戯曲とは何か？」をコンセプトにリニューアルしたAAF戯曲賞。新しく就任した審査員により選ばれた最初の大賞作品『みちゆき』がどのように劇場に立ち現れるのか、ご期待ください。

篠田千明

演出家、作家

AAF戯曲賞審査員より

基さん、稽古場ひやかにいきますね。松原さん、はじめて書いた戯曲が目の前にたちあがる、その経験たのしいですよ。

三島由紀夫なら「カラダを鍛えろ」と一蹴しそうなとまどいが「みちゆき」という作品を支配していました。作者松原さんにとって現実と世間の隙間に落ち込んでしまつたようなのとまどいはとても切実だったのだと感じます。実際この隙間の息苦しさは今の日本にとっても慢性的な病になっています。それが丁寧に観察され、戯曲という形式で記録されている。三浦さんが俳優たちと、このテキストをどう読んでいくのかはまだわかりませんが、上演という行為を経てこのとまどいがどういう輪郭を持っているのか、楽しみでしかありません。

鳴海康平

第七劇場代表演出家

選考会は戯曲の食べ方を学ぶ場でもあった。その咀嚼中に「みちゆき」には、ホールフード(全体的な味わい)を感じていました。選考会後の帰途、ふと、異国の教典のようだと思境し、このコメントを書く前にもう一度読んだ今、なんだか、絵本としても面白いのでは？と、迷想しています。

羊屋白玉

(指揮)ホテル芸術監督、劇作家、演出家、俳優

第16回AAF戯曲賞応募受付中！

審査員：篠田千明・鳴海康平・羊屋白玉・三浦基 締切(必着)：7月31日(日) 詳細はAAF戯曲賞募集チラシ・要項または愛知県芸術劇場Webサイトをご覧ください。

チケット発売 | 愛知県芸術劇場メンバーズWeb先行：2016年6月17日(金)10:00 - 6月18日(土)23:59 一般発売：2016年6月23日(木)10:00 -

料金 | 全席自由・整理番号付：一般3,000円/学生1,000円(25歳以下、要証明書) ※10名以上の場合は団体割引あり。詳しくは劇場事務局 (TEL 052-971-5609) までお問い合わせください。

チケット取扱い | 愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス | <http://www.aac.pref.aichi.jp/dm/> 愛知芸術文化センター内プレイガイド(地下2階) | TEL 052-972-0430 (平日10:00-19:00・土日祝10:00-18:00) ※月曜定休、祝日祭日の場合は翌平日

チケットぴあ | [Pコード:451-756] <http://pia.jp/> チケットぴあ店舗・セブンイレブン・サークルKサンクス

地点 | <http://chiten.org/reservation/index> | TEL 075-888-5343 ※地点でご予約いただいたチケットは当日受付にて精算となります。

※購入方法により、チケット代金のほかに手数料が必要になる場合があります。 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。 【託児サービス】開場から終演時までトットメイトによる託児サービスを実施します。 対象：満1歳以上の未就学児/料金：1名につき1,000円(税込)/締切：9月6日(火) 託児申込・お問合せ：トットメイトTEL 0120-01-6069 (受付時間9:00-17:00)

愛知県芸術劇場メンバーズのお知らせ | 愛知県芸術劇場の主催公演チケットがオンラインで買える。 愛知県芸術劇場メンバーズが始まりました! <http://www.aac.pref.aichi.jp/dm/>

会場 | 愛知県芸術劇場 小ホール

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 | TEL 052-971-5609 (10:00-18:00)

地下鉄東山線/名城線「栄」駅下車徒歩5分(オアシス21地下連絡通路経由または2F連絡通路経由)



『浮城』2015年 photo: Naoshi Hattori



『スボーツ劇』2016年 photo: Takuya Matsumi

みちゆき

地点

協力 | 合同会社地点/京都造形芸術大学 助成 | 平成28年度劇場・音楽堂等活性化事業

企画・製作・主催・お問合せ | 愛知県芸術劇場 TEL 052-971-5609 (10:00-18:00) FAX 052-971-5541 〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 E-mail event@aac.pref.aichi.jp <http://www.aac.pref.aichi.jp>

伊藤高志

1956年福岡市生まれ。九州芸術工科大学在学中に、実験映像作家松本俊夫ゼミで製作した写真アニメ『SPACY』(1981年)で鮮烈なデビュー。以降、日本を代表する実験映像作家として数々の映像作品・映画を手掛ける。1999年、演出家・太田省吾と共に京都造形大学・舞台芸術学科の創設に関わり、近年はダンスとの共同作業による舞台芸術作品も多数発表している。現在、九州産業大学芸術表現学科教授。主な作品に『ZONE』(1995年)、『最後の天使』(2014年)、『三人の女』(2016年)など。

★あいちトリエンナーレ2016映像プログラム『三人の女』上映(8月未予定)★

松原俊太郎

1988年5月生。熊本県熊本市出身。神戸大学経済学部卒。ベケットとジョイスに出会い、傲慢にも小説を書き始める。5本ほど書き終えるも筆にも棒にもからず、東京で派遣社員として労働。出会いのみ救われ、1年間で辞職。地点『ファッツァー』で演劇と出会う。エッセイなどをものしながら各地を転々とし、京都に 정착される。戯曲を書き始め、『みちゆき』で第15回AAF戯曲賞大賞を受賞。引き続き、京都で文筆に動む。

2016年 9月9日(金) 19:30
10日(土) 19:30★
11日(日) 15:00★
12日(月) 19:30

※開場時間は開演15分前

★=公演終了後、演出家・作家によるアフタートーク有

★=公演終了後、"Theatre Meeting『みちゆき』を語ろう"を開催 (詳細はWebサイトをご覧ください)

愛知県芸術劇場 ミニセレ

第15回AAF戯曲賞受賞記念公演

作 | 松原俊太郎

演出 | 三浦基

映像 | 伊藤高志

出演 | 安部聡子 石田大 小河原康二 窪田史恵 河野早紀 小林洋平 田中祐気

映像技術 | 浜田俊輔 照明 | 藤原康弘 音響 | 荒木優光 舞台監督 | 世古口善徳* 宣伝美術・写真 | 松本久木 制作 | 田嶋結菜 村松里実* 制作統括 | 山本麦子* * = 愛知県芸術劇場

AOA

まだ言っているのか。そろそろわたしは絶望するぞ。

どうでもいいお約束によると、あなたは死んで、あなたはひとりになったほうがいいの。引き留めてくれる重石をなくした、なんてつぶやいてね、わたしも後を追って死んでいくから。

まだ言わなきゃならないのか、いつまで言いつづければいいんだ、口から土が吐き出されるようになるまでか。いいだろう、過去だ。あなたが過去を持っていて、そこから都合よく切り取って現在に……つまりここにおけるあなたの現在のはわたしなんだが、パッチワークしてびったり、あら、きれい、これで決まりねってなぐあいはまって嬉々としていまここにいるわたしを疑っていまこいいるわたしをあなたの過去の亡霊、分身でもどっちでもいい、どこの誰だか知らないがそいつと同じものにされて、わたしはそのたびに寝こみをスポットライトで照らされたように感じたね、光を押しつけるのは顔に唾を吐きかけるよりたちが悪いのに。このとき、わたしがあなたのむかしの瘡蓋に覆われるときほどわたしがわたしでなくなることを感じる瞬間はない、わたしはここにいない、わたしたちなんてとんでもない、わたしにはいまがない、大海原のど真ん中で鯨に足に噛みつかれながらあつぷ、あつぷと言ってブイに捕まっている、わたしはブイになりたいのに。そして夢から覚め、吐き気がする。いま、わたしって何回言った？ (采玉に問いかける) わたしが存在しなくなるというそのときにわたしはずっとわたしは、わたしは、と言いつづける青春真っ只中の高校生になって、あなたの思い出したくもない過去をこの脂で黄ばんだ指でなぞらされる……いつも思っていたよ、あなたに証拠を差し出せれば！ 手のひらにのせて、ほら、見てごらんよ、それはこれで、あれではない！ って。チックチック時計を壊して、沈黙を聞いて。わたしは語る。あなたは歌う。こうしてひとりふたりになる。

浮浪者がよろめきながら一人の屍を背負って運んでくる。その後ろに蠅がくつついてくる。

愛知県芸術劇場 ミニセレ 第15回AAF戯曲賞受賞記念公演『みちゆき』



みちゆき